

公認心理師試験 第1回全国模試を受験された皆様

このたびは、弊塾主催の模擬試験を受験いただきまして、ありがとうございます。  
模擬試験に誤りがございましたので、下記の通り対応させていただきます。  
ご指摘いただきました皆様に感謝申し上げます。  
ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんが、何卒よろしく願いいたします。

京都コムニタス

MAIL: info@kyoto-com.net

記

・問 41

選択肢③と④について、H. P. Grice の協調の原理では“Quantity”“Quality”“Relation”“Manner”の4つの公準が挙げられております。このうちの“Relation”について、弊社が参考にした複数の文献では「関連・適切性」と日本語訳されておりましたので、③が適切、④が不適切という問題を作成しました。

しかし、④の「関係」も“Relation”の訳語として不適切とは言えないとの指摘を受け、再調査したところ、書籍によっては「関係」「関係性」とも訳されていることが確認されましたので、問 41 を不適切問題として、全員を正解とさせていただきます。

また、その他正答には関係ませんが、以下の誤植がありましたので、訂正させていただきます。

・午前 解説冊子

p. 60 問 75 の選択肢⑤解説中 「WMCI」→「WMI」

・午後 問題冊子

問 154 の事例 9 行目 「主医師」→「主治医」

・午後 解説冊子

p.9 問 87 の解説中 「18 位が退職 (選択肢⑤)」→「18 位が転職 (選択肢⑤)」

p.39 問 126 の選択肢②解説中 「アトモキセチン (ストラテラ) では嘔気、食欲減退、傾眠など」→削除

※アトモキセチンは中枢神経刺激薬ではなく非中枢神経刺激薬です。

※直前に言及されているメチルフェニデート徐放錠に関する記述に誤りはないため、正答には影響しません。

以上